

ちょっとおでかけ旅ガイド

いばらき
おいしい 
もの巡り

Ibaraki 1day Trip Guidebook

水郷の情緒と
海風を受けて



鹿行

鹿行

見どころ

ハマナスの花が咲く鹿島灘

砂丘を抜けていくとうっそうとした鹿島の杜

そこに餌をはむ鹿たち

小舟で行き来していた水郷の暮らし

あの松尾芭蕉が観たいと、船でやってきた

その月がいまも、海からのっと出るのです

※

平成28(2016)年2月末で調査した情報を掲載しています。
必ず最新情報をお確かめの上、ご利用ください。



常陽フォト
コンテスト

いにしえからの 旅人の物語 海、あるいは湖

鹿島^{なめかた}と行方^{ろっこう}のふたつの地域名を合わせて「鹿行」。それぞれの名は8世紀に編さんされた常陸国風土記にすでに認めることができます。鹿島は、いまの鹿島神宮が名の由来で香島と表記。行方は、海に山並みが重なり、霧がたなびく、その微細な美しさを称えた「なめくわし」が語源と記されています。当時の霞ヶ浦^{ながれうみ}一帯は流海と呼ばれ、波静かな大きな内海がはろばろと広がっていたようです。霞ヶ浦、北浦という湖にはさまれた台地、利根川下流の潮来などの水郷地帯、鹿島灘に面した砂丘地帯とが織りなす美しき国、それが鹿行。

鹿島灘に面した砂丘から砂鉄が採れ、鹿島神宮の国宝の直刀が遺ることから、優れた製鉄技術の匠が古くからいたことが分かります。鹿島コンビナートの地に、製鉄所が出来たこともなるほどと思わせます。

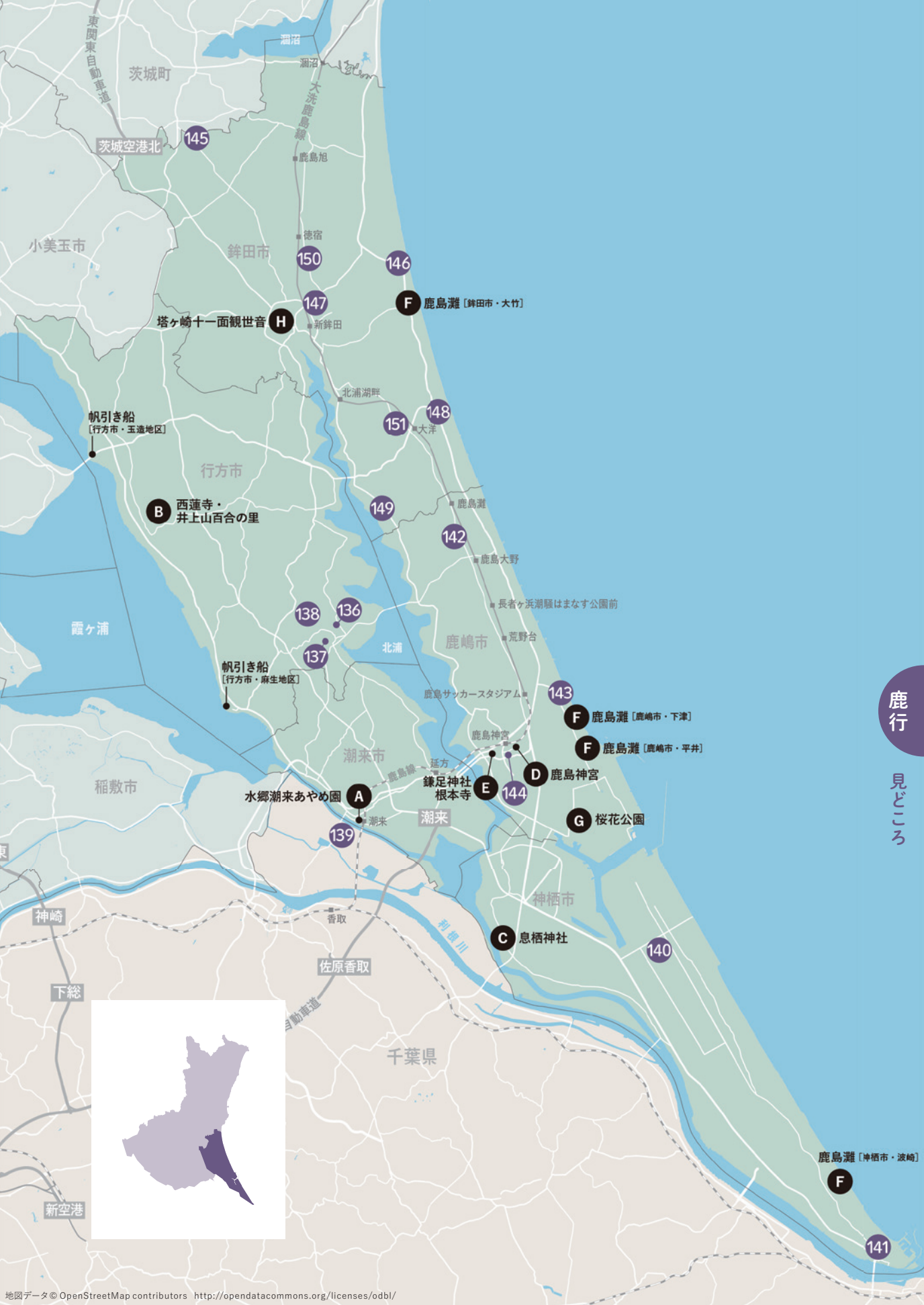
松尾芭蕉の『鹿島紀行』によれば、江戸を発ち、はるばると月をめるために千葉県の布佐から夜船で利根川を下って来た、と。霞ヶ浦と東京の間は、明治、大正、昭和初期までは蒸気船が通っていました。翻って、現代。さすがに悠長な船旅は望むべくもありませんが、鹿行へは、東京方面からは、JR成田線。水戸方面からは、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線が通っています。潮来駅に降りれば、エンマ（江間）と呼ばれる水路をサッパ（笹舟）で巡ることができ、水郷情緒が楽しめます。そう、はるばると来し方に思いを馳せながら。

鹿行

写真は「常陽フォトコンテスト」入賞作品
上：「水遊び広場」（神栖市木崎 神栖中央公園、徳地重男）
下：「馬出し祭り」（行方市天王崎 八坂神社、前島治）



常陽フォト
コンテスト





A

水郷風情を満喫 水郷潮来あやめ園

面積約1.3haの水郷潮来あやめ園は、毎年5月下旬～6月下旬に開催される「水郷潮来あやめまつり大会」の会場となっています。園内には、約500種100万株のあやめ(花菖蒲)が植えられ、一面に咲き誇ります。例年6月10日頃が見頃です。あやめまつり期間中は潮来花嫁さん「嫁入り舟」や「あやめ踊り」、手漕ぎの「櫓舟遊覧」など、水郷ならではのイベントが開催されます。また、「潮来笠記念碑」からは橋幸夫さんの「潮来笠」の曲が、「潮来花嫁さん記念碑」からは花村菊江さんの「潮来花嫁さん」の曲が流れてきます。

潮来市あやめ1-5 鹿 JR 鹿島線「潮来駅」から徒歩3分 終日開放 無休 0299-63-1187 (あやめまつり期間中のみ)



あやめまつりの時の櫓舟

B

2万本の山百合が咲き誇る 西蓮寺・井上山百合の里

霞ヶ浦を望む行方台地に建つ天台宗の西蓮寺は、延暦元(782)年に創建と伝えられる古刹です。境内の仁王門、相輪櫓は、国指定重要文化財。大銀杏は、樹齢1,000年以上といわれ県指定天然記念物。また西蓮寺から歩いてすぐの場所に、関東随一の山百合の群生地「井上山百合の里」があり、夏には2万本の山百合が咲き誇ります。昔ながらの田園風景を眺めながら、山百合の甘いに包まれた里山散策をぜひお楽しみ下さい。

行方市西蓮寺504 鹿 JR 常磐線「土浦駅」から霞ヶ浦広域バスで「道の駅たまつくり」下車、車で10分。開催期間中は霞ヶ浦ふれあいランドから山百合まつり無料シャトルバスを運行(要事前確認) 山百合まつり(毎年7月中旬から下旬) 9:00～16:00 300円(里山保全賛助金)、高校生以下無料 0299-55-1221 (行方市観光協会)



C



いまでも瓶から神泉が湧く
いさす

息栖神社

江戸時代、息栖神社、そして香取神宮、鹿島神宮を順にお参りする「三社もうで」がしきりに行われました。利根川や霞ヶ浦の水運は、荷物を運ぶ高瀬舟をはじめ多くの船が行き来し、とてもにぎわっていました。「三社もうで」は、利根川の本下河岸から茶船で巡ったといわれます。息栖神社の鳥居の脇にある男瓶、女瓶から清水が湧き、「忍潮井」と呼ばれています。祭神は久那戸神。

神栖市息栖2882 鹿 JR 鹿島線「潮来駅」「鹿島神宮駅」から車で20分 0299-92-2300



E

鹿島神宮参拝の時ごいっしょに 鎌足神社 根本寺

鹿島神宮参拝にあわせ立ち寄りたのが、鎌足神社と根本寺。鎌足神社は、天智天皇に仕え、645年に大化改新を断行した藤原鎌足をまつる神社です。平安時代の歴史書『大鏡』に、鎌足は鹿島神宮の鎮座する地で出生とあり、神社は生誕の地に建てられたとされます。「根本寺」は、臨済宗妙心寺派の寺院。江戸時代の俳諧師、松尾芭蕉が『鹿島紀行』で訪れたのがこの寺。貞享4(1687)年、芭蕉は鹿島の月を見るため、禅の恩師、仏頂禅師を訪ねてきました。その時、芭蕉が詠ん

だく月はやし梢は雨を持ちながらの句碑が建てられています。

【鎌足神社】鹿嶋市宮中3354 【根本寺】同市宮中2682 鹿 JR 鹿島線・鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「鹿島神宮駅」から徒歩10分 無料 0299-82-2911 (鹿嶋市社会教育課)



上：鎌足神社 下：根本寺(左)と芭蕉句碑(右)

D

鹿島の杜に鎮座する常陸国一之宮 鹿島神宮

常陸国一之宮として、古来から広く信仰を集めてきた鹿島神宮。うっそうと生い茂る鹿島の杜に楼門、拝殿、本殿などが鎮座しています。ご祭神は、武甕槌大神。宝物館で国宝の部霊剣が拝観できるほか、地震を治める要石、清水がこんこんと湧く御手洗池、鹿園には鹿島の神の使いである神鹿がいるなど、神宮としての由緒を今に伝えています。

鹿嶋市宮中2306-1 鹿 JR 鹿島線・鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「鹿島神宮駅」から徒歩10分 【宝物館】9:00～16:00 大人300円、小人100円 0299-82-1209



鹿島神宮表参道・楼門



鹿行

見どころ

F

美しい砂浜が魅力

鹿島灘

神栖、鹿嶋、銚田にかけての鹿島灘は、なだらかな弓なりの砂浜が続き、神栖市の波崎、鹿嶋市の下津・平井、銚田市の大竹海岸などの海水浴場があり、夏に賑わいます。鹿島灘は、黒潮と親潮がぶつかり、良い漁場であり、南と北のそれぞれの生き物が出会う場所。北海道でよく見られるハマナスは、鹿嶋市北部の大小志崎が群生地、南限として知られます。



鹿島灘の海水浴場のひとつ、大竹海岸銚田海水浴場

G



平和を願い製鉄所が公開

おうか

桜花公園

太平洋戦争末期、現在の鹿島製鉄所付近一帯に海軍航空隊神ノ池基地があり、「桜花（航空機）」の訓練が行われました。桜花は、機体の先に爆薬を積み、母機となる飛行機の下に吊られ、敵艦に近づくと母機から切り離され、操縦士もろとも体当たりする特攻兵器で、太平洋戦争末期に考案されました。戦争の悲惨さを伝え、平和への願いを込め、同製鉄所が一般に公開。当時の「掩体壕」に「桜花」の複製機が置かれています。

鹿嶋市光3 新日鐵住金鹿島製鉄所内
 駅【鉄道】JR 鹿島線・鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「鹿島神宮駅」から車で15分
 【高速バス】東京駅から「鹿島神宮駅」行き「鹿島製鉄所前」下車、徒歩5分
 休 無休 料 無料 ① 0299-82-2911(鹿嶋市商工観光課)

H

安産、子授けで信仰を集める

塔ヶ崎十一面観世音

銚田市の市街地にあり、約300年前に建立されたといわれる塔ヶ崎十一面観世音。観音菩薩の願いである深い慈愛とご加護にあやからうと多くの参拝者が訪れます。安産、子宝に恵まれると古くから言い伝えられ、毎年1月21日、8月21日の大縁日には法要が営まれ、参道には多数の露店が出店し、賑わいます。

銚田市塔ヶ崎946 駅 鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「新銚田駅」から車で約5分
 ① 0291-32-5359



塔ヶ崎十一面観世音(上)と境内(下)